

単元名 **ダンス(フォークダンス, 創作ダンス, 現代的なリズムのダンス)**

配当時間 **9時間**

単元の目標 (1) 感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方、関連して高まる体力を理解するとともに、イメージを捉えた表現や踊りを通じた交流をすることができる。  
(2) 表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。  
(3) ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助したり、交流などの話し合いに参加したり、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めたり、健康・安全に気を配ったりしようとする

## ②フォークダンスと現代的なリズムのダンスの展開例

13300124\_001

【準備等】CDラジカセ, CD, 学習資料, 学習カード, 鑑賞カード

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 ダンスの特性を知り、学習の見通しをもつ。 ★ダンスの特性を知ろう。</p> <p>○ダンスの特性や成り立ちを知る。</p> <p>○学習のねらいや進め方を知る。 ○学習カードや学習資料の使い方を知る。 ○マナーや安全な運動の仕方を知る。</p> <p>○音楽のリズムに合わせてダンスウォームアップをする。</p> <p>2～3 フォークダンスをする。 ★伝承されてきた踊りの特徴をとらえて踊ろう。 ○ダンスウォームアップをする。 ○既習のダンスを踊る。 ＜民謡＞ ・阿波踊り ・ソーラン節 ・エイサー ＜フォークダンス＞ ・マイム・マイム ・コロブチカ ・グスタフス・スコール ○民謡やフォークダンスを大づかみに覚えて踊る。 ＜民謡＞ ・花笠音頭 ・春駒 ・炭坑節 ・鹿児島おはら節 ＜フォークダンス＞ ・オクラホマ・ミクサー ・バージニア・リール ・ドードレブスカ・ボルカ ○民謡やフォークダンスの難しい踊り方を取り出して踊る ・全体練習 ・グループ練習</p> <p>○みんなで踊り、交流をする。</p> <p>4～5 いろいろなリズムに乗って自由に弾んで楽しく踊る。 ★リズムに乗って楽しく踊ろう。 ○ダンスウォームアップをする。 ○簡単な繰り返しのリズムで踊る。</p> <p>○音楽に合わせて、全身で自由に弾んで踊る。 ・揺れる ・回る ・ステップを踏んで手をたたく ・ストップを入れる ・相手の動きに合わせる、ずらす ・手をつなぐ</p> <p>○活動を振り返り、まとめをする。</p> <p>6～8 変化のある動きを組み合わせるリズムに乗って、続けて踊る。 ★リズムに乗って続けて踊ろう。 ○ダンスウォームアップをする。 ○リズムに変化を付けて踊る。 ・全体練習</p>	<p>・イメージを捉えた表現や踊りでの交流を通して仲間とのコミュニケーションを豊かにする運動であることを知らせる。 ・ダンスの特性や成り立ちを説明する。 ・技術の名称や行い方、関連して高まる体力については、単元を通して理解できるようにする。</p> <p>・感じたことを個性に応じて表現することになるので、正しい鑑賞態度と、恥ずかしがらずに全身を使って表現することが大切であることを知らせる。 ・曲を流し、毎時間の授業の始めにウォーミングアップとして行わせる。</p> <p>・軽快な音楽に合わせて心と体をほぐす。 【評】ダンスを踊る活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・資料やVTRなどで踊りを紹介し、日本や外国の風土や風習、歴史などの踊りの由来を理解させる。 ・始めは、民謡やフォークダンスそれぞれの曲調や踊りの特徴を感じ、大づかみに覚えて踊るようにさせる。 ・難しいステップや動き方を取り出して練習させる。 ・全体指導した後は、小グループに分かれ、教え合いながら練習させる。 ・仲間のよい動きや表現などを指摘し合うよう指示する。 【評】みんなで踊り、交流する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・軽快な音楽に合わせて心と体をほぐす。 ・自然な弾みやスイングなどの動きで気持ちよく音楽のビートに乗るようにさせる。 ・ロックやヒップホップなどのリズムの特徴をとらえさせる。 ・体幹(重心部)を中心に全身でリズムをとらせる。 ・1人で自由にリズムに乗ったり、複数で対応しながら踊ったりして工夫させる。 【評】リズムに乗って踊る姿を通して、「知識・技能」を評価する。 【評】振り返りの活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・軽快な音楽に合わせて心と体をほぐす。 ・シンコペーションやアフタービート、休止や倍速など、リズムに変化を付けて踊るように</p>

・グループ練習

- 変化のある動きを組み合わせて続けて踊る。
  - ・短い動きの繰り返し
  - ・対立する動きの組み合わせ
  - ・ダイナミックなアクセントを加える

9 交流会をする。

- ★楽しく踊って交流しよう。
  - ダンスウォームアップをする。
  - グループで練習する。
- 交流会をする。
- 感想を発表し合う。

させる。

- ・1グループ3～5人とする。
- ・リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせる工夫をさせる。

【評】動きに変化を付ける活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・活動中、「見る－見せる」の一方的な関係ではなく、仲間やグループ間で動きを見せ合っ

て交流させる。  
【評】動きを組み合わせる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

- ・軽快な音楽に合わせて心と体をほぐす。
- ・変化を付けて組み合わせた踊りをグループで確認する。

【評】交流会を通して、「知識・技能」を評価する。

【評】感想を発表し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

【評】単元全体の活動や交流会で評価し合う活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

- (1) ダンスは、「創作ダンス」「フォークダンス」「現代的なリズムのダンス」で構成され、イメージを捉えた表現や踊りを通じた交流を通して仲間とのコミュニケーションを豊かにすることを重視する運動で、仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージを捉えて自己を表現したりすることを楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。ここでは、イメージを捉えたり深めたりする表現、伝承されてきた踊り、リズムに乗って全身で踊ることや、これらの踊りを通じた交流や発表ができるようにする。
  - (2) 標準的な展開例として、①フォークダンスと創作ダンス②フォークダンスと現代的なリズムのダンスの2つを示した。2つの展開例のうち、1つを選択して履修することを基本とする。
- 創作ダンスの多様なテーマと題材や動きの例示…中学校学習指導要領解説（保健体育編）P.171参照  
日本の民謡、外国のフォークダンスの踊りと動きの例示…中学校学習指導要領解説（保健体育編）P.172～P.173参照  
現代的なリズムのダンスのリズムと動きの例示…中学校学習指導要領解説（保健体育編）P.174参照